

聞き手

# 池崎大輔さん

ウィルチエアーラグビー日本代表



ゲスト

# 西村由紀江さん

作曲家／ピアニスト



Vol. 12

## THE NEXT

～ 未来を創る人たち ～

ウィルチエアー(車いす)ラグビーの日本代表選手である池崎大輔がゲストを迎えてさまざまなことを語り合う本企画。今回は、西村由紀江さんがピアノを演奏してくれるところから始まった。

# 「多くの人にピアノの力を届けたい」

**池崎** (西村さんのピアノ演奏を聴いて)すごい……！僕は楽器もできないし、音楽には疎いんです。でも、ピアノの音が鳴った瞬間に込み上げてくるものがありました。いま弾いてくださった曲が、東日本大震災の時に作られた曲ですか？

**西村** はい、「微笑みの鐘」という曲です。

**池崎** 東日本大震災から丸8年になります。西村さんはいまも被災地でピアノを失ってしまった人に「ピアノとピアノの音」を届ける「スマイルピアノ500」という活動をされてるんですね。

**西村** 震災直後にテレビのニュースを観ていたら、「いま何が欲しいですか」と尋ねられた陸前高田市の女の子が「ピアノが欲しい」と答えていた。それにものすごい衝撃を受けたんです。この子にピアノを届けたいと思ったんですがどうしていいのかわかりませんでした。そんな時、すでに被災地で活動していた調律師の名取浩治さんに出会ったんです。「僕がメンテナンズや調律をして、西村さんが笑顔でピアノを弾くというプレゼントはできないかな」と声を掛けていただき、一緒に活動を始めました。

**池崎** 実際に被災地に行かれた感想は？

**西村** ピアノを待っている方に届けられることは本当に嬉しいことですし、みなさんの笑顔に私の方が元気をもらっています。お届けした時は毎回「弾き初め」をさせて頂くんですが、ある時、「私はいいわ」と部屋を出ようとするお母さんをお引き留めし、お子さんと一緒に聴いてもらいました。すると、1音目を弾いた時にお母さんの目から涙がスーッと流れたんです。演奏が終わったら、「なぜかわからないけど、涙が出たの

よね」って。多分、子供の前ではいつも笑顔でいようと気を張っていらつしやっただけでしょう。それが、ピアノの音色によってふっと心が解けたのかなと。ピアノが好きだからとか、思いの曲だからとか、そういうこととはきっと関係ないですね。ピアノの音色にそういう力があるんだなと私自身が気付きました。すごくハッとさせられました。

**池崎** まさに先程の僕と同じですね。僕も西村さんの演奏を聴いて心が揺さぶられました。ピアノの響きがダイレクトに身体や脳に伝わってきた気がして……。これが生で聴く音楽の力なのか、と感じましたから。

**西村** スポーツにも同じ力がありますよね。私はスポーツ観戦が好きで、先日もウィルチエアーラグビーの試合を拝見したのですがすごくパワーをもらいました。

**池崎** スポーツは音楽とは程遠いと思っただけですがそんな共通点があったとは！すごく嬉しいです。



西村 由紀江  
にしむら ゆきえ

作曲家／ピアニスト。幼少より音楽の才能を認められ海外への演奏旅行などを行う。桐朋学園大学入学と同時にデビュー。ドラマ・映画・CMの音楽を多数担当するほか、TV・ラジオの出演やエッセイの執筆も行う。



池崎 大輔  
いけざき だいすけ

1978年、北海道生まれ。車いすバスケットボールから2008年、ウィルチエアーラグビーに転向。10年4月、日本代表に選出。16年、リオパラリンピック銅メダル。18年、世界選手権優勝。三菱商事所属。

作曲家／ピアニスト

西村由紀江さん

2/2



## THE NEXT

～ 未来を創る人たち ～

ウィルチエアー(車いす)ラグビーの日本代表選手である池崎大輔がゲストを迎えてさまざまなことを語り合う本企画。前回に続き、作曲家・ピアニストの西村由紀江さんに話を聞いた。

## 「コンプレックスも力に変えられる」

**池崎** 西村さんとピアノの出会いはいは？

**西村** 母がピアノの先生をしていたので自然に自分も弾いていたという感じです。3歳の頃でした。

**池崎** そこからずっとピアノを好きで続けられたのですか？

**西村** 私がピアノを続けられたのは、実は「人見知り」というコンプレックスがあったから。幼稚園で友達に声を掛けられてもドキドキしてうまく応えられなかったんです。そのもどかしい気持ちを抱えてピアノを弾いたら「大変だったね」ってピアノが慰めてくれていたみたいで聴こえた。今日は友達とちよつと話せた、嬉しいと思つてドミソを弾くとなんだか明るい音色に聴こえたり。同じドミソでも悲しい音色に感じることもあるんですよ。毎日、そうやって自分の気持ちを日記のように音にしていました。

**池崎** その頃から作曲していたということですか？

**西村** そうですね。それもまたコンプレックスに関わるのですが、ピアノを習い始めた頃に先生から「あなたの手が小さいからピアニストは無理」と言われたんです。だから、クラシックのピアニストにはなれないと思つた。でも、だからこそ、自分の手に合わせて自分が弾ける曲を作っていく。そういうところに楽しさを見い出せたんだと思います。

**池崎** ハンデにくじけず、自分の強みを伸ばせたということですね。

**西村** 今も小さな手に変わりはありませんが、いつだって自分にできることがあるしベストを尽くそうと思つています。旅先でも指のトレーニングは毎日欠かしませんし、体幹を鍛えたりもしているんですよ。

**池崎** そんな話を聞いたら、夢を諦めそうになつてる子ども達も励まされるんじゃないかな。

**西村** そうだと嬉しいです。あと、子どもたちのためにできる取り組みとしては、ピアノを始めた

ばかりの人でも楽しく弾ける曲をたくさん作ろうとしています。せつかく始めたのに練習曲がつまらなくて辞めてしまつてはもったいないので(笑)。

**池崎** ピアノを続ける人が増えたらいいですよ。

**西村** 私はコンサートだけでなく、幼稚園や病院など色々な場所で演奏活動をしています。聴いてくださる方や場所によって、同じ曲でもまた違った響きになるから面白いんです。私はこれまでピアノにたくさん力をもらつてきたので、音楽を通じて誰かのためになればと思つています。

**池崎** 僕もスポーツを通じて誰かの励みになったり、エールを送ることができればと思つているので、思いは西村さんと同じです。お互いのジャンルでますます頑張つていきましょう。



聞き手

池崎大輔さん

ウィルチエアーラグビー日本代表

西村 由紀江  
にしむら ゆきえ

作曲家／ピアニスト。幼少より音楽の才能を認められ海外への演奏旅行などを行う。桐朋学園大学入学と同時にデビュー。ドラマ・映画・CMの音楽を多数担当するほか、TV・ラジオの出演やエッセイの執筆も行う。

池崎 大輔  
いけざき だいすけ

1978年、北海道生まれ。車いすバスケットボールから2008年、ウィルチエアーラグビーに転向。10年4月、日本代表に選出。16年、リオパラリンピック銅メダル。18年、世界選手権優勝。三菱商事所属。